

# としょかんだより 第82号

2014年 5月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2014年 6月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

	9:00-21:30		13:00-21:30
	9:00-17:00		休館日
	9:00-19:00		



## Tea Break



図書館 2F の閲覧室入口近くに給茶機とコーヒーサーバーを設置しました。

お茶・紅茶は無料ですが、コーヒーは 1 杯 100 円です。  
そばに休憩スペースもありますので図書館を利用がてらゆったりとくつろぎの時間を過ごしてみたいはいかかでしょう



Menu(お茶・紅茶)
・紅茶
・ほうじ茶
・烏龍茶
・煎茶
・※HOTかCOLDえらべます

Menu(コーヒー)
・オリジナルブレンド
・有機栽培珈琲
・炭焼珈琲
・キリマンジャロ
・イタリアンロースト
・モカブレンド

### 発行所

〒648-0280

和歌山県伊都郡

高野町高野山 385

高野山大学図書館

閲覧室

TEL:0736-56-3835

FAX:0736-56-5590

E-mail

service-lib@koyasan-u.ac.jp

### 第1回 図書館戸田文化講座

#### 「空海と私」

日 時：5月30日(金曜日)16時40分～17時00分

場 所：高野山大学図書館閲覧室

講 師：夢枕 獏

問合せ先：高野山大学図書館（電話 0736-56-3835）

※事前申込不要、直接会場へおこし下さい

\* 講演中は貸出手続きを一時停止します。

# 奥の院の参道に立つ芭蕉の句碑



高野山大学教授 図書館長  
下西 忠

俳聖松尾芭蕉は、貞享五年（一六八八）『笈の小文』の旅の途中、高野に詣でました。芭蕉は旅を好み、しばしば旅をするとともに、文章にも強い興味をもっていて、多くのすぐれた紀行文を残しました。『笈の小文』もその一つで

す。二月十八日に亡父の三十三回忌法要をすませ、三月十九日門人杜国を同伴し、伊賀上野を出発、吉野など大和国を巡歴し、高野山を参詣しました。高野については同書では、

ちゝはゝのしきりに恋し雉の声  
ちる花にたぶさはづかし奥の院 万菊

しか載せていないが、芭蕉は「高野登山端書」と呼ばれている一文を残しています。万菊とは杜国のことです。芭蕉の俳文の妙味を味わっていただきたいので、あえて原文でしめしておきます。

高野のおくのにのぼれば、霊場さかんにして、法の燈消る時なく、坊舎地をしめ、仏閣薨をならべ、一印頓成の春の花は、寂寞の霞の空に匂ひておぼえ、猿の声、鳥の啼にも腸を破るばかりにて、御<sup>びよう</sup>窟を心しづかにをがみ、骨堂のあたりに<sup>たたずみ</sup>イて、情おもふやうあり。此処はおほくの人のかたみの 集れる所にして、わが先祖の鬢髪をはじめ、したしきなつかしきかぎりの白骨も、此内にこそおも ひこめつれと、袂もせきあへず、そゞろにこぼるゝ涙をとゞめて、

父母のしきりに恋しきじ雉の声

納骨の場としての高野の特性がよく出ていると思います。

句の意味は、慈愛をうけた亡き父母のことがしきりに思われることだ。昔から雉は子を思う鳥とされている。そういえば行基菩薩が、

山鳥のほろほると鳴く声聞けば父かと思ふ母かと思ふ

と詠んだ、その雉の声を聞くと一層父母のことが恋しく思われることよ、となると思います。季語は「雉」で春。

山桜いづくにおはす父母ぞ 読人知らず

句碑は安永四年（一七七五）十月十二日に建てられました。この句碑の建立者は、紀州の日高郡御坊村の塩路沂風で、後に義仲寺無名庵六世になった俳人である。もちろん、義仲寺は滋賀県にある寺で、朝日將軍源義仲の菩提を弔うために建立されたものです。なお、芭蕉のお墓は、彼の遺言によってこの義仲寺にあります。なぜ芭蕉は源義仲を慕ったのであろうか。

木曾殿と背中合はする夜寒かな 又玄